

FT-IR顕微イメージングシステム

Tokushima Prefectural Industrial Technology Center

概要

微小物・微小領域の赤外分析を行い、有機系材料の構造解析を行う。

2次元分析が高速で実施できることから、高度な解析が可能。



アジレント・テクノロジー（株）
Cary620FTIR(赤外顕微鏡)・Cary660FTIR(本体)

特徴

- 顕微モード
(透過、反射、ATR測定が可能)
- FPA二次元アレイ(64×64)検出器を搭載
- 顕微透過・反射の場合(約350 μ m×350 μ m)エリアが測定可能
- 顕微ATR法Geプリズムを使用の場合(約70 μ m×70 μ m)エリアが測定可能

用途

- プラスチックラミネートフィルムの層構造解析
- プラスチック・ゴム等のフィラーの分散状態
- LCDやハードディスク表面の汚染物質分析
- 多成分ファイバーの同定
- 錠剤中の成分またはコーティングの分布状態評価

非接触式三次元スキャナ装置

Tokushima Prefectural Industrial Technology Center

概要

測定対象物をレーザ光を用いて非接触で測定し、表面形状の三次元座標点群データを取得

特徴

- 7軸の多関節アーム先端にラインレーザプローブを装着しており、多関節アームを操作することで様々な方向から対象物を測定することが可能
- ラインレーザプローブをスタイラスに切り替えることで、接触式の三次元測定も可能

用途

- リバースエンジニアリング
- 三次元形状測定



(株) ミットヨ
SpinArm-Apex 247H